平成２４年度　第３回利用者懇談会　議事録

日時　：　平成２４年１１月２５日（日）　１０：００～１１：３０
場所　：　喜多方市立図書館２階　第２閲覧室
出席者：　別紙の通り

１．開会

２．館長挨拶

３．議事
・図書館の現状（利用状況）及び利用者アンケートコメント（中間）の状況
・ディスカッション
＜テーマ＞
①図書館で強化して欲しい資料（図書）
②イベントで企画してほしいもの
③図書館広報誌の内容について
④意見交換（ご意見ご要望等）

参加者１

強化して欲しい資料については、読みきかせの知識や情報を得る資料を充実させてほしいです。昨年は研修会のお知らせをいただき、勉強させていただいて良かったなと思っています。
また、ずいぶん増えてきてはいますが、更に大型絵本増やしてほしいと思います。

企画して欲しいイベントについては、小さなお子さんをつれて参加できるようなイベントがあるといいなと思います。立派な先生をおよびするものだけでなく、学校に出向かれてブックトークを行っていることをお聞きし、専門的な知識を教えていただく事も多いので、学校だけでなく図書館でも職員の方たちが行っているブックトークなどを身近に聞ける機会をつくっていただきたいです。

その他には、小中学校さんと連携をとっていただいて、子どもさんたちの図書館の来館が増えていけばいいと考えています。
公民館や児童館での出張おはなし会の回数が増えているそうですが、ある程度決まった場所で行われているのでしょうか。もっと出張おはなし会を行う場所が増えて行けばいいと思います。

（回答）
現在は決まった所での開催になっていますが、少しずつ他の公民館や児童館も増えてきています。

参加者１
　絵本コーナーが良くなったと感じていますが、サイエンス本や物語などの本を目のひく所にコーナーとしてあるといいと思います。
教育委員会の研修でも、科学など身近なものからの絵本の刺激が良いと先生方もおっしゃっていたので、学校関係者と連携して図書館も一緒に力を入れていければいいと思います。

（回答）
　色々なご指摘がありましたので、前向きに取り組んでいきたいと思います。絵本コーナーでのコーナー作りに関しては、現在書架を間伐材の書架に変更する事を検討中です。その際に大幅なレイアウト変更を行いたいが、少しずつ改善、コーナー作りをしていきたいと思います。

参加者２
　強化して欲しい資料は、シリーズが１から揃っていないものがあるので揃えてほしいです。

参加者３
　強化して欲しい資料は、魔女やファンタジーの本を増やして欲しいです。それから、階段が急で危ないので、改善して欲しいです。

（回答）
　建物が古く、エレベーターやスロープを設置するのが難しいため、お子さんやお年寄りがつかまれる手すりの設置を検討しております。

参加者４
　強化して欲しい資料は、探険やマンガの本を増やして欲しいです。
それと、以前イベントで行われた図書館たんけんに参加して楽しかったので、また実施してほしいです。

（回答）

今年度は図書館たんけんは実施しませんでしたが、こども読書の日の４月２３日に図書館たんけんを復活させようと思っています。また、毎年ジュニア司書（こども図書館員）として図書館体験をしてもらっているので、来年度も引き続きおこなっていきます。

参加者５

強化して欲しい資料は、歴史関連が好きなので、歴史系の本を取り入れて欲しいです。

企画して欲しいイベントについては、中高生向けのイベントを企画してもらえれば、もっと気軽に参加できると思います。

前回の利用者懇談会で、２階の戸が重いと意見を出しましたが、どうなりましたか。

（回答）

２階の扉の関しては、音は少し残ってしまっていますが、重さは改善すみです。

ちなみに、中高生向けのイベントはどういったものを行うと皆さん参加してくれますか？例えば、ボランティア参加やオススメの本を皆さんで紹介するイベント、新しい図書館だとライブなどを行っていますが、喜多方市立図書館ではどういったものがいいでしょうか。

参加者５

ボランティアなどは参加してみたいです。

（回答）

ありがとうございます。ぜひよろしくお願いします。

前年度後半から、高校生が１人お話しボランティアとして活動してくれています。現在は高校３年生ということで、進学の方を優先してもらい、活動はお休みされています。

中学校の図書委員会の活動の中で、図書館や高齢者施設で読みきかせボランティアをしている事もあるので、地域のおはなしボランティアさんと連携して活動をしていけば人の輪も広がると思います。

ボランティア活動も参加すると楽しいと思いますし、いつでも受入れさせていただきます。

参加者６

強化して欲しい資料は小説を増やして欲しいです。

参加者７

強化して欲しい資料について、成人の男性の方ですと、週刊誌に興味がある方もたくさんいらっしゃると思いますので、週刊誌を充実していただければ、もう少し利用者も増えるのではないかと思います。

企画して欲しいイベントについては、私も小さい子どもがおりまして、やはりアニメに興味をそそられているので、アニメを題材にしたイベントを行うとお子さんにうけるのではないでしょうか。

また、新刊購入の際にどういったものを基準にしているのか、年間の予算はどの位なのかをお聞きしたいです。

（回答）

図書館で本を購入する際は、図書費ではなく資料費という名目で購入しています。予算は年間６２４万円、雑誌は別に年間７０万です。
本は１日に２００冊～３００冊出版されます。１週間で１４００冊～１５００冊発売されるため、本の注文は週単位で行っており、毎週約１０万の予算で発注をかけ、毎週木曜日に受入れされています。

選書方法は、新刊全点案内という雑誌がありまして、１週間に発売された本が掲載されており、出版社から出版される本のデータをいただいて、専門の委員の方が編集されたものになります。
その中から図書館で揃えなくてはいけない資料、読んで欲しい資料、読みたい資料を基準に購入しています。

また、皆さんが図書館で購入して欲しい資料のリクエストも受付しております。類似した本があればそちらを代用して貰う場合もありますが、８割方購入しています。

参加者８

一般の市民の方からご意見いただく中で、うかがったご意見を市の当局に申し上げる立場にありますので、私が直接意見を申し上げるのはあんまり適切ではないと思いますが、これまで色んな全国をまわっていまして、関係する取り組みの中で参考になさってもいいのではないかという事例を申し上げますと、教育に力を入れている地方の都市で、毎日授業前に地域の人が読みきかせをおこなっている小学校があります。
小学校での文章の表現力はもちろん情操豊かな教育をされてるんだなと感じました。
そういった取り組みを喜多方市でこれから行っていく場合、ボランティアや地域とうまくコミュニケーションをとりながら協力する体制をどうやって作っていくのかをお話していかれるのはいかがかな、と思います。

また、市が大きくなり利用できない方々も結構いらっしゃると思います。利用出来ない

方々に地理的ハンディをどうやって解消していくのか市の組織と調整をとりながら努力されてもいいのかな、と感じています。

（回答）
　私どもがそういう朝の読みきかせを行うお話をいただいた時は申し訳ありませんがお断りさせていただいていました。
スタッフの出勤時間前になってしまい、朝の１５分の他に往復時間を考えると地域のボランティアさんに協力していただかないと朝の読みきかせは難しい状態です。
実際に学校にいかせてもらっている場合も日中に行っているのが実態です。

参加者８
　指定管理の方に行っていただきたいという事でなく、各学校の取り組みに対してこういった礎石があるので、こういった事をやられてはどうかということと、実際に朝の読みきかせの取り組みがされている所もあるようですが、されていない所はどうなのか、市の全体の協議をはかったらいかがでしょうか。

（回答）
　現在市内に１７校ある学校のうち、１２校にはボランティアが入っていますが、他５校は手つかずの状態だと思われます。我々としては、ボランティアが入っていない所は手を差し伸べてあげたいと思っていますし、我々だけでは難しい場合は地域のボランティアさんに協力いただいてカバーしてあげたいなと感じています。
学校への支援に関しては大きな課題と思っておりますので、なんとか良い方向に持っていきたいと思います。
旧喜多方市以外の学校のお子さんたちは図書館に来館する事が難しいため、図書館文庫として熱塩小と加納小に毎月１回５０冊を貸出しています。図書館文庫を利用する小学校も増えてきているので、このまま拡大していければと思います。
利用者アンケートの意見の中で移動図書館の話もありました。昔の喜多方市図書館でも移動図書館はございましたが、現在、全国的に移動図書館は衰退しています。
図書館に来館された方を優先させるため、購入して１～２年たたないと移動図書館に新刊を入れる事ができなく、運営の方としては難しいと考えています。
遠隔地向けの対応として、地域限定になりますが山都公民館と連携をとり、公民館の文化祭に出展するなど山都の方々に図書館を認識していただく活動をしています。文化祭での出展が好評で、１２月の公民館の行事に図書館のイベントも組み込んでいただいております。熊倉公民館でも予定しておりますので、なるべくそういった輪を広げていきたいと思っています。

参加者９

旧喜多方の人たちは気軽に図書館に来れますが、遠くの地域に住んでる方々は、行ってみたいと思っていてもなかなか移動手段がなく難しい状況なので、遠隔地の人たちがもっと参加したり関心を持てるような工夫をして欲しいと思います。

図書館広報紙は非常に有効的ですが、どの範囲の人が目にしているのか、遠隔地の人の目にふれるような方法はないだろうかと考えています。

図書館のおはなし会にボランティアとして参加していますが、子どものための部屋が定着化され、おはなし会も充実してきている事に喜びを感じています。これからも頑張っていただければと思います。

山都小学校の読みきかせを行っておりますが、悩みの種は選書です。今の時点では、それぞれ自分のレベルで選書をおこないグループ内でお互いに意見交換を行っていますが、年齢に応じた選書のアドバイスをしていただきたいです。

また、大型絵本ですが、貸出中の大型絵本を県立図書館へ相互貸借の依頼をお願いしたところ、喜多方市立図書館で所蔵しているものは貸出できないということでしたが、そういう決まりになっているのでしょうか。それが少し不便に思いました。

色んなイベントを行っていますが、良いことをしているのに一部の人にしか情報が届かない事を懸念しています。定着するのには時間がかかるかもしれませんが、情報を広く伝えるようなアピールをもっと工夫して欲しいと思います。

（回答）

相互貸借では、喜多方市立図書館で所蔵している資料の貸出はできない決まりになっております。

児童向けの図書館広報誌「わくわくとしょかんメール」は市内小学校に児童数分約３０００部配布しております。また、今年から北塩原の小学校２校にも配布しております。

一般向け図書館広報誌「ききみみずきん」は今年の１０月から発行したので、図書館メインで配布を行っていますが、公民館や公民館支所など約５００部配布しています。

以前発行されていた広報紙は一般家庭に配布されていたようですが、現在一般家庭に配布するほどの余力が無いため、関係機関・施設に配布する状況です。

読みきかせの選書のアドバイスについては、スタッフが県立図書館の研修会に参加する予定になっておりますので、そちらをフィードバックさせてください。

昨年度もイベントのアピールが下手くそだという指摘をいただいています。現在イベントの広報として、館内、広報きたかた、ホームページ、FM きたかたなどで告知をしていますが、その他に有効な PR 方法があればアドバイスをいただきたいと思います。

参加者９

他の地域にあるかわからないので一概に言えませんが、山都では地域のイベントや行事

がある時は、防災無線でお茶の間に直接情報が流れてくるシステムがあります。
ケーブルテレビが入れば、旧市内だけでなく喜多方市全体の人々に情報が届くのではないかなと思います。

参加者１０

小さな町の中で良い場所に図書館があり、人口の割には蔵書もあり、雑誌・新聞、閲覧室や学習室もあり、市民の皆さんに愛されていく図書館だと思います。
色んな方の意見がありますが、一般市民の方に気楽に利用してもらう事が目的の図書館なので、古典的なクラシック本から現代の本、お子さんたちが好きな本はまんべんなく揃っていると思います。

企画して欲しいイベントについては、イベントに参加した事が無く、先月行われた図書館寄席も興味はあったが時間がとれず参加できなかったのですが、高齢の方も多いので年に１回催してくれれば参加する方も多いのではないでしょうか。
会津若松図書館では、定期的に映画を上映しています。会津若松市の劇場も閉館してしまったので、わざわざ足を運んでもらうことになりますが、暗い大きな部屋で鑑賞するのも良いと思います。
内容もビデオ鑑賞できるものではなく、自由民権運動や喜多方の歴史、仏教関係など特殊な映像や昔みたいな８ミリや１６ミリの映画を上映するのもいいのではないでしょうか。

だいたいの人が貸出期限の２週間を守られていると思いますが、利用者が増えれば、延滞や新聞の盗難、切り抜きも増えてくると思います。どう対応していくのでしょうか。
インターネットの時代になって、若い世代の人たちは違和感なく利用していますが、インターネットを使わないと情報が得られない社会ではいけないと思います。だからこそ図書館が重要な役割になってくると思うので、ぜひ利用促進していただけるような方法を考えて欲しいです。

（回答）

貸出期間は２週間と決まっていますが、実際に督促をかけているのは１カ月たってからになります。
首都圏では期限を過ぎるとすぐに貸出停止になるのが一般的ですが、喜多方のような地方では、なかなか来館できない利用者の方もいらっしゃるので、予約の入っている資料はすぐに督促をかけていますが、それ以外の資料は３０日間様子をみています。

雑誌・新聞の盗難については、現在毎月１回新聞の盗難被害にあっている状況です。
対策として、頻繁に盗難にあっている新聞や雑誌はカウンターの前においてあります。
イベントに関しては、図書館寄席が大変好評だったので、また来年度も開催していこうと思います。

映写会も考えていますが、会場が映写会に適していない事や機材がないという課題があり、なかなか難しい状況です。

参加者１１

図書館流通センターの方が運営されるようになってから、レイアウトやイベントなど、こうなったらいいなというものが形になっているので、利用しやすくなりましたし、ボランティアもさせていただいていますが、活動しやすくなりました。

５つの小学校と４つの幼稚園で、毎月定期的にお昼休みや授業中に読みきかせをおこなっています。

私たちが当たり前に聞かされていたお話を今の子どもたちは知らない事が多く、小学校や幼稚園では、アンデルセンやイソップなどの世界の昔話、古典の童話の読みきかせの希望があります。

大型絵本が増えてきてはいるが、季節によって読みきかせしたい本が貸出中の場合とても残念です。季節の定番本を増やして、目当ての本が貸出中でも他の本から選べるようにしてもらえると良いと思います。

子ども達の地元を愛する気持ちを育てられるよう、ご当地ものの昔話や伝記もあると良いです。

堂島のむかし語りも読みきかせをするととても喜ばれますが、小さいお子さんには難しかしいお話もあったので、紙芝居を作成したいのですが個人だと時間が無く形にするのが難しい状況です。紙芝居や絵本を作る企画をしてもらえれば、ボランティア同士の連携や情報共有の場にもなるのではないかと思います。

図書館なので閲覧や学習されている方もいて、音を出しては悪いかなと思い遠慮していましたが、おはなし会でオカリナを演奏したり、童謡や唱歌をプログラムに取り入れたいので、検討いただいてOKが出ればやっていきたいと思っています。

あと、原画展はとても嬉しいので、これからも継続して行って欲しいです。

広報紙について、先程初めて拝見しましたが、素敵な内容で面白いのでもっと多くの方に知っていただけたらと思います。

回覧板なら必ず全世帯で目にするため、回覧板に入れるのはどうでしょうか。

スタッフの人数の問題で出張おはなし会が難しいとのことでしたが、出来る範囲であれば協力したいと思っているので、気軽に声をかけていただければと思います。

（回答）

おはなし会で楽器を演奏する件ですが、第１日曜日に読みきかせボランティアをしてくださっている団体さんはハンドベル演奏をされています。おはなし会では、てあそび・わらべうたがプログラムに入るのが主流であり、閲覧されている方たちも小さい子のイベン

トということで快く了承していただいていると思いますので、よろしくお願い致します。

５．図書館長より

貴重なご意見ありがとうございます。限られた時間でのご意見の拝聴になってしまいましたが、全て対応できる事かどうか検討させていただいて改めて回答させていただきます。

６．文化課より（和田補佐）

いつも図書館をご利用いただきましてありがとうございます。本日はオブザーバーとして出席しておりましたが、皆さまからの意見を参考にして今後ともよりよい図書館になるようにしていきますので宜しくお願い致します。

７．閉会